業務デザイナー機能説明書 期限日編

目次

期限日	3
期限日設定機能概要	3
期限日設定方法	3
期限日変更方法	4
期限日確認方法①	
期限日確認方法②	9

期限日

期限付き申請フローの設定、期限日の変更・確認について説明します

期限日設定機能概要

日付、または日付時間の入力枠を「期限日」として設定し、かつ、期限日有効承認位置が未処理の運用中の申請フローにおいて、入力した期限日の確認、変更が行えます。

※催促メール機能オプションが導入されている場合のみ有効です。

期限日設定方法

帳票作成時、項目種別に「日付」「日時」を選択した場合に、期限日の設定を行うことができます。各項目の詳細については[帳票定義画面項目編-帳票定義作成画面]をご参照ください。

【帳票定義作成 - 入力枠設定画面】



期限日変更方法

運用中の申請フローの期限日を変更することができます。要求一覧より期限日変更フロー を起票します。要求が来ている担当者、代理・代行承認者が起票可能です。

1. 期限日変更リンクをクリックする

期限日の変更を行いたい項目の「期限日変更」リンクをクリックすると、期限日変更申請フローが 起票されます。帳票ごとに期限日変更申請フローを設定する方法については[フロー連携定義編-期限日設定連携]をご参照ください。

【要求一覧画面】





期限日変更フロー システム 220422 期限日変更申請書



2. 「変更期限日」に変更したい日付を入力する

変更後の期限日は最終承認後、反映されます。

ページ 1

※「変更後の期限日」には本日以降の日付のみ入力が可能です。

期限日変更フロー システム 220422 期限日変更申請書





ポイント 期限日変更フローについて

• 複数の期限日変更フローが起票された場合

1 つの期限日項目に対して複数の期限日変更フローの起票ができます。

・終了した帳票への期限日変更

期限日変更フローが承認されるまでに、元フローが終了した場合でも期限日変更フローが 承認され、期限日の変更が行われます。

・削除した帳票への期限日変更

期限日変更フローが承認されるまでに元フローを削除した場合は期限日変更処理でエラーとなり承認者へ返却されます。

• 循環 • 履歴を残して差戻した場合

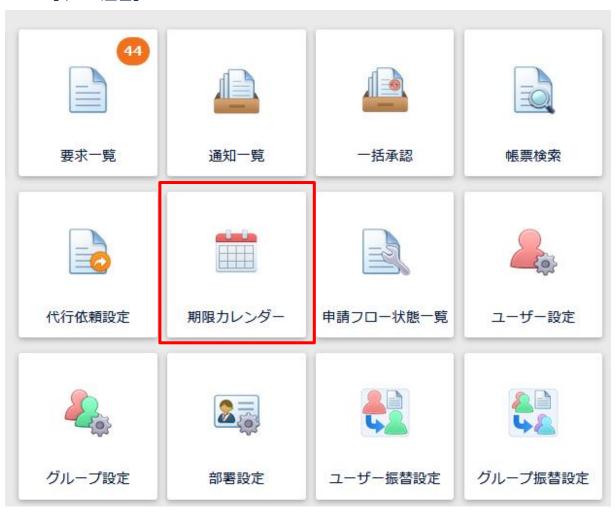
循環や履歴を残して差戻した帳票を持つフローにて期限日変更を行った場合、更新対象の 帳票は常に最新の帳票になります。

期限日確認方法①

期限カレンダー画面から、期限日が設定されているフローの日付を確認することができます。

1. ホーム画面の [期限カレンダー] ボタンをクリックして期限カレンダー画面に遷移する

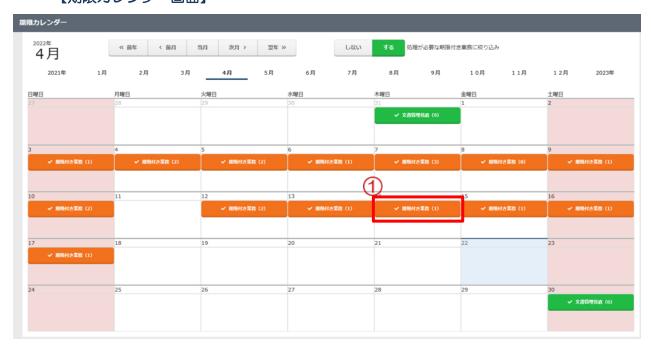
【ホーム画面】



2. 期限付き業務情報をクリックする

対象日付の [期限付き業務] ボタン(下図①)をクリックすると、期限付き業務一覧ダイアログが表示され、期限日を確認することができます。各項目の詳細については [期限カレンダー編 - 期限付き業務一覧ダイアログ]をご参照ください。

【期限カレンダー画面】



期限付き業務一覧

期限: 2022/04/14 (木曜日)

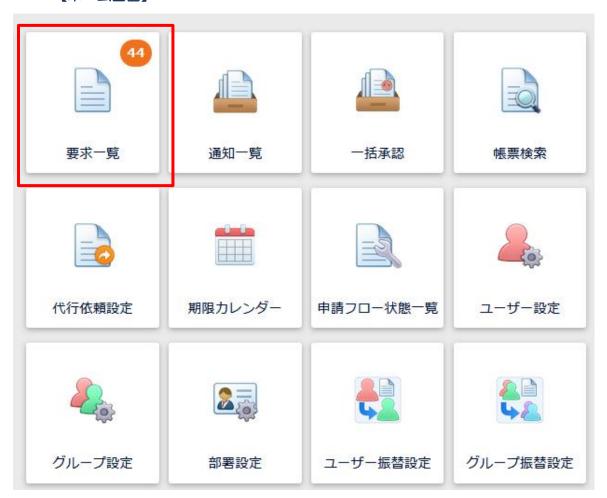
BASIC-00000005	9:インシデント登録フロー		処理対象者:システム 管理者
業務名	インシデント登録フロー	項目名	日付項目
概要			

閉じる

期限日確認方法②

要求一覧画面から、期限日が設定されているフローの日付を確認することができます。

1. ホーム画面の [要求一覧] ボタンをクリックして要求一覧画面に遷移する 【ホーム画面】



2. 期限欄に記載されている日付を確認する

各項目の詳細については[要求一覧編 - 要求一覧画面]をご参照ください。

【要求一覧画面】



書 名:業務デザイナー 機能説明書(期限日編)

発効元:株式会社ユニオンシンク 発行日:2023年9月19日

©2023 Unionthink Co., Ltd.